

in

東京

# 愛される学校づくりフォーラム 2012

1. 学校のお荷物（学校HP&学校評価）を切り札に
2. 授業名人が語る！ 斬る！ ICT活用

日 時

平成24年 2月25日(土)  
10:00~16:30 (受付開始 9:30)

会 場

東京コンファレンスセンター・品川  
※ JR品川駅中央改札港南口(東口)より徒歩2分

定 員

300名 ※定員になり次第締め切らせていただきます

対 象

幼小中等高等学校の教職員／大学等の教育関連の研究者／  
教員を目指す大学(院)生／教育委員会等の教育行政担当者／  
愛される学校づくり研究会会員および会員の紹介者

参加費

3,000円 (資料代含む)

主 催

愛される学校づくり研究会

協 力

i-learn.jp 学校広報研究会

申込み

ホームページから、または中面の参加申込書にご記入の上、  
FAXにてお申込みください。(2月15日締切)

※詳細は、中面をご覧ください

【午前の部】

主な登壇者

【午後の部】

◆パネラー：愛される学校づくり研究会会員

小中学校、大学、教育委員会、企業といった様々な立場から、「学校HP&学校評価」について熱い議論を交わします。

◆コーディネーター：玉置 崇

◆授業名人



有田和正 先生



野口芳宏 先生



志水 廣 先生

◆コーディネーター：堀田龍也 先生

愛される学校づくり研究会は、関わってくださるすべての皆さんから  
愛される学校となるための様々な研究を行うとともに、  
会員の力量向上を図るための研修、情報交換、発表をすることを目的としています。

<http://www.ai-school.jp/>

## ごあいさつ

「愛される学校づくり研究会」では、関わってくださるすべての皆さんから愛される学校となるための様々な研究・開発・実践等を行っています。また、会員の力量向上を図るための研修、情報交換、発表をすることを目的としている研究会です。

平成23年2月名古屋で開催した第1回のフォーラムに引き続いて、今回は東京で、第2回目となるフォーラムを開催することになりました。

今回のフォーラムでは、全国各地で飛び込み授業や講演をしておられる国語授業名人の野口芳宏先生、社会授業名人の有田和正先生、算数授業名人の志水廣先生にご登壇いただくことになりました。

また情報教育の第一人者である玉川大学教職大学院教授の堀田龍也先生にもお力添えをいただけることとなりました。

午前中は、パネルディスカッションを行います。「学校HPと学校評価は学校のお荷物だ」と言われる方がありますが、学校が愛されるためにこれほど有効な切り札はない、というのが研究会の主張です。

ご参加の皆さんには、会員10名による「学校HP&学校評価」の実践バトルをお楽しみいただきたいと思います。また、開発した学校評価システムの体験、システムを使っでのディスカッションにも参加していただこうと思っています。

午後は「授業名人が語る! 斬る! ICT活用」と題して、授業実践発表とパネルディスカッションを行います。

この企画発案は、堀田龍也先生です。授業名人の追試をする際、ここぞという場面でICTを活用すると、経験が浅い授業者でも、授業名人の域に近づくことができるのではないかと、という大胆な仮説を私たち研究会で確かめてみたのです。授業名人は、ICTが活用された授業追試映像をご覧になり、どのような見解を示されるでしょう。今から、とても楽しみにしています。

会員一同、皆様のお越しをお待ちしています。



会長 玉置 崇

## 午前の部

### ◆パネルディスカッション 10:00 ~ 12:00

#### テーマ

#### ●学校のお荷物（学校HP&学校評価）を切り札に

学校のお荷物である学校HPと学校評価を切り札にした実践紹介とそのポイント、さらに高みをめざすための方策について話し合います。

#### ◆パネラー



近藤肖匡

「子どもたちのために、良いと思ったことはどんどん取り入れよう」という管理職からの言葉。この言葉があってこそ、本校のHPと学校評価システムが展開できました。地域に与えた影響力の大きさに震えます。



鷲尾健仁

担当者任せで学校HPの役割を果たすことは不可能。トップの熱意一つで職員意識が大きく変わり、学校もまた大きく変わります。HPは稼働していて当たり前という意識で、全職員による学校HPを構築していきたいと思っています。



三原 徹

民間経営の私学はいま、建学の精神と伝統に胡坐を掻いていて生徒が集まるほど甘くありません。多くの方から入学を希望して戴くために、生き残りをかけ、積極的に学校HPと学校評価を展開していかなばなりません。



平林哲也

発信がなければ受信はありえない、という考えに基づき、学校HPを通じた情報発信を保護者・地域に向けて続けています。受信者の声が毎日の教育活動の支えとなり、私たち教職員の背中を力強く押してくれます。



水谷年孝

学校の姿を「伝えているつもり」、保護者や地域の声を「わかっているつもり」でした。学校に係わるすべての方にとって「わかりやすい学校」をめざすためには、「学校のお荷物」の有効活用が一番と痛感しています。



小西祥二

学校教育が学校だけで行われているのではありません。保護者、地域、そして企業なども係わって行われています。それぞれに情報発信をし、それを調整していくことが大切です。そのため学校HPと学校評価が武器になります。



野木森広

学校はその使命を果たしているかどうかを絶えずチェックする必要があります。そのためには、定期的な総括的評価から日常的な形成的評価に重点を移すべきです。いわば学校経営と学校評価の一体化が必要になります。



豊福晋平

当事者の認識如何に関わらず、学校は常に社会から注目・評価される存在です。学校への信頼や良い評判を獲得し、関係者との相乗効果を産むには、組織経営を意識した学校評価や、オープンな学校広報が欠かせません。



柳瀬貴夫

やりたいけど方法が分からない。簡単に効果的な方法はないか？ 一歩先を見ている先生方のお手伝いをすることは、大変ですがやりがいのある仕事です。先生方の「こんなことをしたい」をシステムでバックアップします。



大西貞憲

学校をよく知ろうと情報を集める人もいれば、自分勝手な批判を発信する人もいる時代。学校が情報発信に消極的で得ることは何も無い。自らが正しい情報を発信し、外部の声を聞き、変わっていかば応援団も増えていく。

#### ◆コーディネーター：玉置 崇

●13:00～13:40

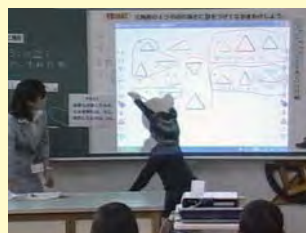
算数

◆授業名人◆



志水 廣先生

公立学校勤務の経験をふまえ、○付け法、意味付け復唱法などの子にもわかる喜び・できる楽しさを味わわせる指導法の理論家であり実践家です。信念は「愛で育てる算数数学授業」。授業力アップ志水塾を創設し、全国各地で志水式授業メソッドの普及にあたり、愛で溢れる教室を増やすことをライフワークとされています。



3年算数「三角形」において、ICTと意味付け復唱法を併用することで、二等辺三角形、正三角形など辺の長さに着目して三角形を分類整理していくよさに気付かせ、話し合いを深めていく授業を提案します。

- ◆コーディネーター …鈴木正則
- ◆アドバイザー …鈴木詞雄
- ◆授業者 …佐藤由美

●13:45～14:25

社会

◆授業名人◆



有田和正先生

「教材開発」や「授業のネタ」という言葉を広め、定着させた授業実践家です。子どもたちが「はてな？」と思う教材(ネタ)を発掘し、子どもたちをたちまち「追究の鬼」に変容させてしまう名人です。授業中のユーモアあふれる対応も魅力的で「笑いのない授業をした教師は逮捕せよ」と発せられたのも有田先生です。



「バスのうんてんしゅ」の授業展開を取り入れた、3年「店ではたらく人々の仕事」の第1時。映像でコンビニ店内を360度ぐるりと視せ、子どもたちが店員の仕事についてより広く深く気づくようにしました。

- ◆コーディネーター …大西貞憲
- ◆アドバイザー …浅野哲司
- ◆授業者 …西山竜市

●14:30～15:10

国語

◆授業名人◆



野口芳宏先生

価値観の多様化する現状にあっても、教育の「不易」を追究する実践者です。「活動あって指導なし」という、子どもにおもねる授業を一刀両断。授業というものは、子どもをよりよく伸ばすことと断言し、今なお授業に取り組んでおられます。実践に裏打ちされた指導理論は、全国の志ある教師から絶大な信望を得ています。



詩「うとてとこ」の追試です。上手な音読をするために、「学習用語」をどう子どもに身につけさせるのか。ICTの活用により既習教材に立ち戻り、らせん的に力を積み重ねていく授業の方法を提案します。

- ◆コーディネーター …堀田龍也先生
- ◆アドバイザー …伊藤彰敏
- ◆授業者 …吉田 愛

第2部

◆パネルディスカッション 15:30～16:30



◆コーディネーター  
堀田龍也先生

テーマ

●授業名人と語るこれからの授業づくりとICT活用

そもそも授業名人はICT活用について、どのように考えられているのでしょうか。もし授業名人の現役時代にICTが教室にあったら、はたして使われたのでしょうか。教育コンサルタントの大西貞憲さんが、授業名人のICT授業観に鋭く切り込みます。教育の情報化ビジョン懇談会委員であった玉置が、授業名人にICT活用の有効性を訴えます。コーディネーターの名人・堀田龍也先生により、授業名人とこれからの授業を語り合います。歴史に残るパネルディスカッションになるとと思います。乞うご期待！

◆パネラー：有田和正先生、野口芳宏先生、志水 廣先生、大西貞憲、玉置 崇

◆参加お申込みの流れ◆

●お申込みURL  
http://planexus.co.jp

- 1) ホームページから、または下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。(2月15日締切)
- 2) 申込受付後、ヤマト運輸のメール便にて「①入場券」「②払込票」「③EDUCOM教育フェア招待券」(希望された方のみ)をお送りします。お申込から1週間過ぎてもお手元に届かない場合は、事務局までご連絡ください。
- 3) 入場券到着後、同封の払込票にて代金をお支払いください(8日以内のお支払いをお願いしております)。払込票はコンビニエンスストア、郵便局、銀行等のPay-easy対応の金融機関でお支払いいただけます。
- 4) 払込票の受領証をもって、領収書に替えさせていただきます。別途領収書が必要な方は、当日受領証を受付にお持ちください。

愛される学校づくりフォーラム2012 参加申込書

送付先・ご請求先	住所	〒 都道府県		(自宅・勤務先) ※○をお付けください
	勤務先	※勤務先を送付先にされる方はご記入ください		
	ふりがな 氏名	TEL.	FAX.	
メールアドレス	_____@_____			

※払込票(兼受領証)は上記送付先のお名前でお送りします

■入場券 3,000円 ×  枚 / 合計 \_\_\_\_\_ 円

	参加される方のお名前	ご所属 (学校・教育委員会等)	職名	参加区分 <sup>※1</sup>	EDUCOM教育フェア招待券(昼食券)の希望 <sup>※2</sup>
1				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
2				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
3				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
4				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
5				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要

※「愛される学校づくり研究会」会員の紹介の場合は、会員の名前をご記入ください ( )

※1 下記より該当する記号の□にチェックをお付けください。  
A: 幼小中等学校の教職員 / B: 大学等の教育関連の研究者  
C: 教員を目指す大学(院)生 / D: 教育委員会等の教育行政担当者  
E: 愛される学校づくり研究会会員および会員の紹介者

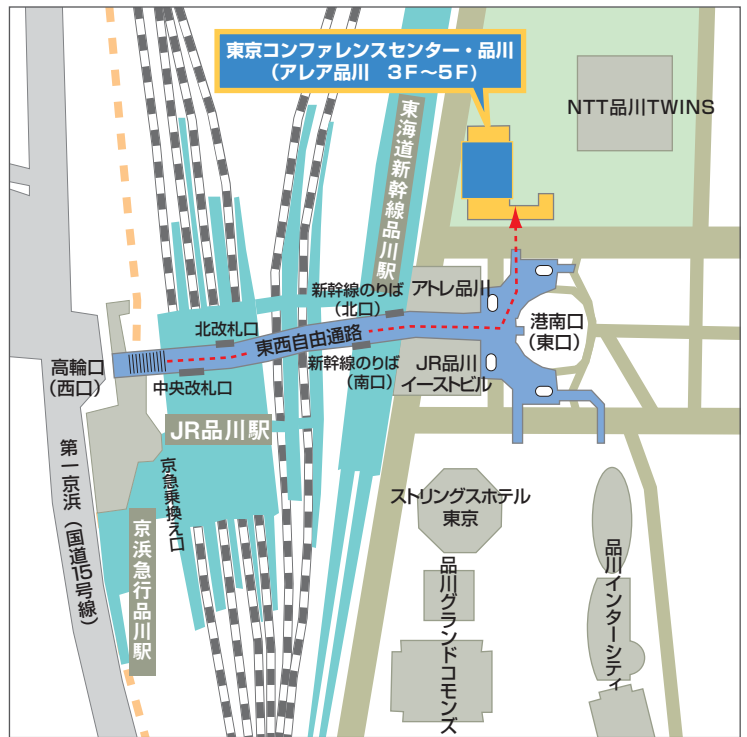
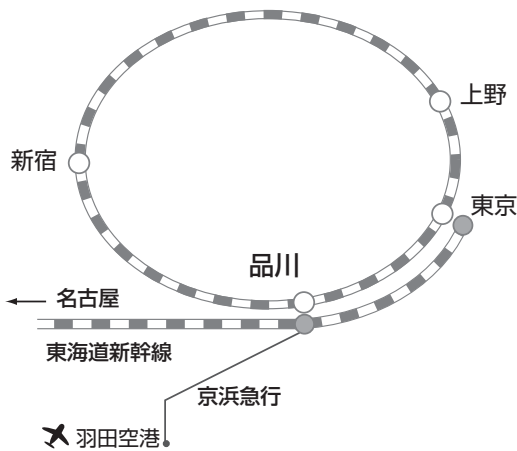
※2 入場券を事前にお申し込みの方には、EDUCOM教育フェア2012の招待券(当日、昼食券とお引換できます)をお送りします。お時間等の関係で昼食がご不要の方は「□不要」にチェックをお付けください。

FAX.03-6457-6755

ホームページからもお申込みいただけます  
http://planexus.co.jp/

## 会場へのアクセス

- JR品川駅中央改札港南口(東口)より徒歩2分(駅からペデストリアンデッキで直結しています)
- 品川駅へはJR線(山手線、京浜東北線、東海道線、横須賀線、東海道新幹線等)及び京浜急行をご利用ください。
- 羽田空港から14分(京浜急行)



東京コンファレンスセンター・品川  
東京都港区港南1丁目9-36 TEL:03-6717-7000 (代表)

## フォーラムに関するお問合せ

株式会社プラネクサス内 愛される学校づくり研究会事務局

jimukyoku@ai-school.jp

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-29-1

TEL: 03-6457-6753

FAX: 03-6457-6755

広告

## プラネクサスの教育書籍のご案内

プラネクサスでは、「学校を元気にする」というコンセプトのもと、  
教育関連の書籍を編集・出版しております。

現在までに刊行(予定を含む)された「学校力アップシリーズ」のラインナップをご紹介します。

### 大西流・授業の見方

— 授業を見る目を高めるノウハウ 25



本書は、年50回以上の授業指導・講演を行うプロの教育コンサルタント・大西貞恵氏が、元気な学校づくりの達人・玉置崇氏の絶妙なリードのもと、授業をするとき、見るとき、指導するときに役立つノウハウ25を紹介しています。

著者: 大西貞恵 / 玉置 崇  
定価: 1500円+税  
発行: 2010年9月

### 「学び合う学び」と学校づくり

— 発信し続けた教育の本質



本書は、前小牧市教育長・副島孝氏が、9年間にわたって発信し続けた「教育委員だより」を再構成したものです。260号にも及んだ膨大な教育委員だよりの中から、玉置崇氏によって精選された、69号を収録しました。

著者: 副島 孝  
編者: 玉置 崇  
定価: 1700円+税 / 発行: 2010年12月

### 玉置流・学校が元気になるICT活用術

— ICTは学校力向上ツール

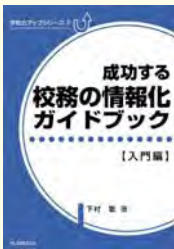


本書は、元気な学校づくりの達人・玉置崇氏が、教頭職6年、校長職3年の間に実践してきた学校を元気にするICT活用についてまとめたものです。職員室・教室におけるICT活用術、学校ホームページ活用術を27事例紹介しています。

著者: 玉置 崇  
定価: 1500円+税  
発行: 2011年1月

### 成功する校務の情報化ガイドブック

【入門編】



本書は、これから校務の情報化を検討していく地域の先生方、教育委員会の情報化担当の方に対して、校務の情報化とその基盤となる校務支援システムの現状をお伝えすることを目的に書かれたものです。入門編として分かりやすく構成されています。

著者: 下村 聡  
定価: 1600円+税  
発行: 2011年4月

学校を応援する人のための

### 学校がよく分かる本

I. 組織・しくみ編 II. 学習内容編 III. 授業編



本書は3部作シリーズです。元気な学校づくりの達人・玉置崇氏と教育コンサルタント・大西貞恵氏の、学校の様々なことをしっかりと伝え、正しい目を持った強力な応援団を各地につくりたいという熱い思いから生まれました。

著者: I. II. 玉置 崇 III. 大西貞恵  
定価: 各1500円+税  
発行: 2012年1月(予定)

お問合せ  
&  
ご注文

- 「学校力アップシリーズ」は、フォーラム当日、会場にてお求めいただけます。下記プラネクサスのホームページからもご注文いただけますので、ご利用ください。

株式会社プラネクサス  
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-29-1  
TEL: 03-6457-6753  
FAX: 03-6457-6755

<http://planexus.co.jp>



## フォーラム 2012 in 東京

たくさんの方のみなさまの  
ご参加をお待ちしております

来る2月25日に東京・品川で開催される「愛される学校づくりフォーラム2012」のご案内をお送りいたします。

当フォーラムは、昨年の名古屋での開催に引き続き、2回目の開催となります。今回もまた、「EDUCOM教育フェア2012」の会場を使用して開催いたします。当日は、教育ICT関連の展示等もごさいますので、あわせてご覧ください。

愛される学校づくり研究会

## 「EDUCOM教育フェア2012」のご案内

### ごあいさつ

私どもEDUCOMは、「システム」と「サポート」を通して、お客様（学校・先生・子ども）をもっと元気にするお手伝いをする企業です。EDUCOMのシステムは、常に学校現場との共同研究をベースに学校現場の『願い』『思い』を一つひとつ実現する製品開発を行っています。また、EDUCOMのサポートは、単なる保守ではなく、活用を促進させるためのトータルな活用サポートが特長です。

このたび、元気な学校づくりを応援する活動の一つとして「EDUCOM教育フェア」を開催いたします。フェアでは愛される学校づくり研究会の皆様にご活躍をいただき、ICTを活用した学校広報や学校評価、またICTを活用した授業について考える場を設けることができました。あわせて、当社の校務支援システムや学校ホームページシステム、学校評価システムなどについて展示・紹介いたします。皆様にとって、ICTを活用した元気な学校づくりについて考える機会となれば幸いです。

株式会社EDUCOM 代表取締役CEO 柳瀬貴夫



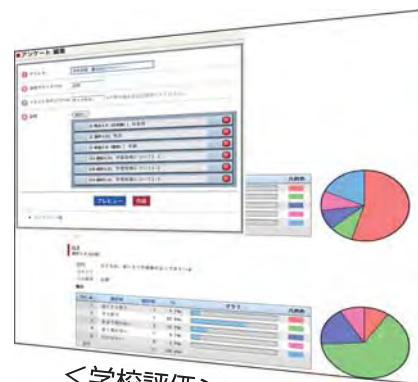
<学校ホームページシステム>

- 記事が簡単にアップできる、だから更新率が大幅アップ
- 学校ホームページコンテスト「J-KIDS大賞」の受賞校が多数使用
- ASPならサーバーの購入や運用管理が不要、明日から利用開始



<校務支援システム>

- 学校分散運用から、大規模センター運用まで豊富な実績
- 学校オリジナル通知表に対応、各種帳票カスタマイズも可能
- 日々の連絡から成績処理、そして保健、徴収金まで多彩な機能



<学校評価システム>

- パソコンや携帯電話を利用したアンケートシステムで、学校評価の効率アップ
- ボタン一つでリアルタイムにデータを集計、すぐに結果を活かせる
- 学校ホームページと組み合わせることで、資料をもとにした評価が可能



「愛される学校づくりフォーラム2012」の入場券を事前にお申込みの方には、  
「EDUCOM教育フェア2012」の招待券をお送りいたします。  
招待券は、当日レストランの昼食券とお引換いたしますので、受付にお持ちください。